

# イノベーション部門

## 下水処理施設におけるオンサイトPPAモデルを活用した(自家消費型)太陽光発電設備設置による脱炭素社会実現に向けた取組事例

応募団体名)株式会社フソウ・エナジー

### 応募事例の概要

購入型太陽光発電では初期費用の捻出が必要な為、導入が困難



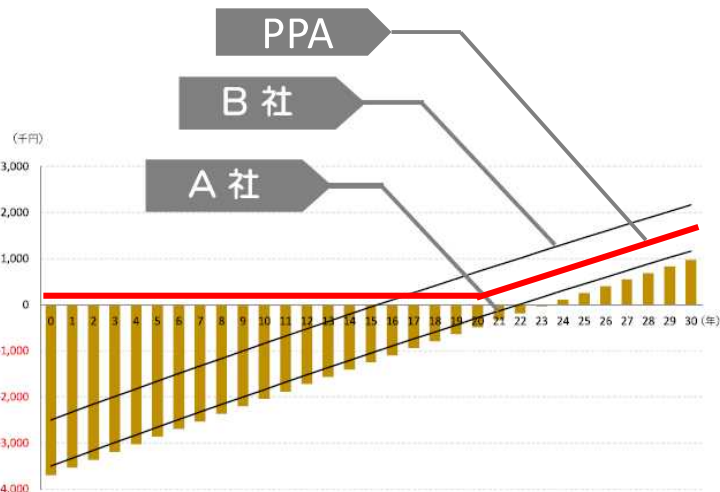
初期費用、維持管理不要。更に、契約満了後は設備譲渡により発電分電料が“ゼロ”

#### A社

【提案1】購入型(補助事業活用)  
規模: 213kW  
初期費用: 約30万円/kW  
※PPAについても検討依頼したが、費用面でよい提案ができないと辞退

#### B社

【提案1】購入型  
規模: 123kW  
初期費用: 約20万円/kW  
【提案2】PPA



※第77回下水道新技術セミナー富良野市講演資料より抜粋、一部追記

令和3年4月、富良野市は脱炭素社会の実現、地球温暖化対策に積極的に取り組むことを表明、市の環境基本計画、地球温暖化対策実行計画の一環としての取組。



### <<事業スキーム>>



富良野市『2050年ゼロカーボンシティ表明』

取組

脱炭素社会の実現・地球温暖化対策

PRポイント

- ・土地提供
- ・電気料金



- ・太陽光発電設置
- ・電力供給
- ・維持管理

#### 【PPAモデル活用によるメリット】

- ・設備導入の初期費用の削減
- ・CO<sub>2</sub>排出量の削減(再生可能エネルギー)
- ・電力料金の価格変動リスク回避

北海道内初となる下水処理施設でのオンサイトPPAモデル導入による太陽光発電設備の設置。(※令和4年7月より発電を開始)

設備の設置費用だけでなく、20年間の契約期間中の維持費も富良野市の負担はありません。設備導入により削減されるCO<sub>2</sub>排出量は約60トン/年となります。

また、毎年市内の小学生が富良野水処理センターを見学を訪れ、本設備を通して、エネルギーや環境を考える機会を提供する環境教育施設としての役割も担っております。



ソリューション事業部 浅利 将人

#### 取組に関するエピソード

富良野市でも初めてのPPAモデル活用ということもあり、設備稼働までに富良野市の各関係機関から多くのご助力を頂きながら本プロジェクトを進めてまいりました。

同市が管理する施設の中で電気使用量においては下水処理施設は非常に大きなウエイトを占める為、実際に稼働してみた結果、降雪地域でも一定以上の効果が表れていることに大きな喜びを感じています。

今後も再生可能エネルギーを通して自治体と連携して環境問題への取組を積極的に進めてまいります。